

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月11日 更新

事務事業名		工業用水道維持管理事業（施設）			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	6	産業の健幸		所属部	水道局	課長名	大塚 勝己
	施策	25	企業誘致の促進と働く場の確保		所属課	水道課	担当者名	荒巻 慧
	業務分野	73	企業誘致の促進		所属班	水道班	(内線)	5242
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	地方公営企業法、市工業用水道事業給水条例、同施行規則ほか
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 18 年度） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ ～ 年度）		

★事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	合志市と菊陽町にまたがるセミコンテクノパーク内の事業所等に対し、工業用に使用する水を配水する工業用水道（工場などの事業所に人体と直接接しない目的で用いる雑用水を供給する水道）の原水・配水施設（配水池及び配水ポンプ施設、高架水槽、原水（取水）施設）等を運転し、維持管理する事業である。 熊本県による内陸型工業団地として整備されたセミコンテクノパーク（合志市及び菊陽町）及び隣接して拡張された原水工業団地（菊陽町）の工業用水道の原水・配水施設等を適切に運転及び維持管理するため、平成10年度から事業を開始した。 工業用水道の原水・配水施設等は計画的に整備されており、企業等の目的に応じて使用できるよう塩素による消毒を行わない工業用水を配水しており、現在7社に供給している。 菊陽町とは、事務委託規約を締結（議決）しており、必要に応じて費用負担についてなど協議を行う必要がある。（平成25年度に菊陽町から協議があった原水地区道路付替えに伴う配水管の移設工事を実施した）
【業務の流れ】	セミコンテクノパーク内工業用水道の原水・配水施設等（配水池、高架水槽、配水ポンプ施設、水源施設）の定期管理（維持管理等の業務委託に関する契約事務、業務立会、結果報告、改善事務等）②同原水・配水施設等に係る電気設備の保安管理（業務委託に関する契約事務、監督、指導ほか）③同原水・配水施設等に係る水質検査業務（契約事務等）④故障等が生じた場合の修繕対応事務（現状の把握、故障原因の調査、専門業者の手配、改善策の検討、契約事務、業務立会、結果確認・検査等）⑤必要に応じ菊陽町との協議
【主な予算費目】	款)1. 工業用水道事業費用(項)1. 営業費用(目)1. 原水及び浄水費

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

老朽化した配水池電気設備の修繕等を行う等適切な運転及び維持管理を行った。併せて定期的水質検査業務を実施した

②7年度計画（次年度に計画している主要内容）

工業用水道の原水・配水施設等の適切な維持管理を行う。非常用発電機のメンテナンス及び必要に応じた修繕等を行う

③予算の主な増減の理由

委託業務に係る技術者単価の増に伴う増額

成果指標

ア 原水・配水施設に起因する断水件数

(単位)

件

データ取得方法

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
ア	件	1	0	0	0	0	0	0	0
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円	20,799	24,843	25,987		38,813	53,938	74,956
	繰入金	千円							
	一般財源	千円							
(A) 事業費計	千円	20,799	24,843	25,987	0	38,813	53,938	74,956	10,416

(3)評価の総括（成果向上の余地・事業費削減の余地）

原水・配水施設等の破損や事故等につながる大きな災害等もなく、適切な維持管理を行うことにより、目標を達成することができた。

(4)今後の事業の方向性

廃止  縮小  事業のやり方改善  現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）